

使徒信条

わたしは、天地の造り主、全能の父なる神を信じます。

わたしは、そのひとり子、わたしたちの主、イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、処女マリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、陰府にくだり、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父なる神の右に座しておられます。そこから来て、生きている者と死んでいる者とを審かれます。

わたしは、聖霊を信じます。聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン

主の祈り

天にまします我らの父よ、

願わくは御名をあがめさせたまえ。

御国をきたらせたまえ。

御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧をきょうも与えたまえ。

我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、

我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国とちからと栄とは、

限りなく汝のものなればなり。アーメン

初めて礼拝に参加なさる方への御案内

- ・教会の礼拝は、信者だけのものではありません。どなたでも、いつでも参加できます。
- ・礼拝は、「見えない神と対面するとき」です。砕かれた自分を携えて礼拝に臨みましょう。
- ・礼拝では、イエス・キリストを証言する聖書を読み、その聖書を説き明かす説教が行なわれます。イエス・キリストの御言葉と生きる姿を通して、私たち自身の生きる道を尋ねましょう。
- ・礼拝では、讃美歌を歌い、祈ります。これらは神への信頼を表し、また神の恵みに応えて感謝を捧げるものです。
- ・礼拝では、自分自身をささげて神に従う献身のしるしとして、献金を捧げます。今は、献身のしるしとして捧げる事は難しいと感じる方が、神への感謝のしるしとして捧げることもまた礼拝に相応しいことです。人の目や金額の大小を思わず、心のままにお捧げ下さることは、神と人へと仕えて生きる新しい歩みの第一歩となるはずです。



←礼拝ライブはフェイスブックから
週報はホームページにも掲載→



礼 拝 毎日曜 午前10:10より
日曜学校 毎日曜 午前 9:30より
祈り会 毎水曜 午前10:30より
午後 6:30より

*牧師との面談を希望される方はご連絡下さい。



週 報

2021. 4. 11.

主は、「そこを出て、山の中で主の前に立ちなさい」と言われた。見よ、そのとき主が通り過ぎて行かれた。主の御前には風が起り、山を裂き、岩を砕いた。しかし、風の中に主はおられなかった。風の後に地震が起こった。しかし、地震の中にも主はおられなかった。地震の後に火が起こった。しかし、火の中にもおられなかった。火の後に、静かにささやく声が聞こえた。

(列王記上19:11~12)

日本キリスト教会

札幌豊平教会

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条3丁目5-15

電話 (011) 811-6838

送金には、郵便局から振替口座をご利用ください。振替 02790-7-9082

口座名義：日本キリスト教会札幌豊平教会

メール toyohirachurch@jcom.home.ne.jp

HP <https://www.ccjtoyohira.com/>

北海道中会ホームページ <http://nikki-hokkaido.net/>

招きの言葉：ヨハネ15：26～27

わたしが父のもとからあなたがたに遣わそうとしている弁護者、すなわち、父のもとから出る真理の霊が来るとき、その方がわたしについて証しをなさるはずである。あなたがたも、初めからわたしと一緒にいたのだから、証しをするのである。

讚美歌 I-545

聖書 使徒言行録8：26～40 (新p228)

祈り
説教 「主の霊の導き」

讚美歌 I-333 (1,2,4節)

献金

主の祈り

頌栄 I-540

祝祷

アーメン三唱

後奏 (聴いた御言葉と派遣されて行く者としての理想を覚えて、各自黙祷を)

きょうの聖書

26 さて、主の天使はフィリポに、「ここをたつて南に向かい、エルサレムからガザへ下る道に行け」と言った。そこは寂しい道である。

27 フィリポはすぐ出かけて行った。折から、エチオピアの王女カンダケの高官で、女王の全財産の管理をしていたエチオピア人の宦官が、エルサレムに礼拝に来て、

28 帰る途中であった。彼は、馬車に乗って預言者イザヤの書を朗読していた。

29 すると、“霊”がフィリポに、「追いかけて、あの馬車と一緒にいけ」と言った。

30 フィリポが走り寄ると、預言者イザヤの書を朗読しているのが聞こえたので、「読んでいることがお分かりになりますか」と言った。

31 宦官は、「手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりましょう」と言い、馬車に乗ってそばに座るようにフィリポに頼んだ。

32 彼が朗読していた聖書の箇所はこれである。

「彼は、羊のように屠り場に引かれて行った。毛を刈る者の前で黙している小羊のように、口を開かない。

33 卑しめられて、その裁きも行われなかった。だれが、その子孫について語れるだろう。彼の命は地上から取り去られるからだ。」

34 宦官はフィリポに言った。「どうぞ教えてください。預言者は、だれについてこう言っているのでしょうか。自分についてですか。だれかほかの人についてですか。」

35 そこで、フィリポは口を開き、聖書のこの箇所から説きおこして、イエスについて福音を告げ知らせた。

36 道を進んで行くうちに、彼らは水のある所に来た。宦官は言った。「ここに水があります。洗礼を受けるのに、何か妨げがあるでしょうか。」

37 (底本であるギリシャ語新約聖書<聖書協会世界連盟修正第3版>に欠けている)

38 そして、車を留めさせた。フィリポと宦官は二人とも水の中に入って行き、フィリポは宦官に洗礼を授けた。

39 彼らが水の中から上がると、主の霊がフィリポを連れ去った。宦官はもはやフィリポの姿を見なかったが、喜びにあふれて旅を続けた。

40 フィリポはアゾトに姿を現した。そして、すべての町を巡りながら福音を告げ知らせ、カイサリアまで行った。

《2021度主題》

『他者と共に、他者のために～食でつながる心と命～』

聖書 創世記1：28

神は彼らを祝福して言われた。

「産めよ、増えよ、地に満ちよ。地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物を全て支配せよ」

今週の集会

- ・12日(月)10:30 絵手紙G
- ・14日(水)10:30 祈り会(オンライン併用) /18:30 祈り会
- ・15日(木)10:00～14:00 弁当調理
- ・16日(金)9:00 弁当作り(12:30 教会前で手渡し)
11:15～外国人留学生・路上へ、札幌バプテスト・聖公会札幌キリスト教会にて弁当手渡し
- ・17日(土)10:00 リハーサル 15:00 コンサート開演
10:00～12:00 町内会総会(TUBAKI プレミアホテル)
13:00～14:00 キリスト教信仰Q&A(オンライン併用)

今週の牧師の予定

- ・15日(木)10:30 NPO 札幌市里親会理事会

次主日の予告 (2021年4月18日) 聖餐執行

礼拝 復活節第3主日(ライブ配信)

聖書 使徒言行録9：1～9 (新p229)

説教：「なぜ、わたしを迫害するのか」 稲生牧師

讚美歌 I-545, 249, 205, 541

報告

- ・4日の礼拝出席30名、幼児1、陪餐29
献金16,500円。 高校生以上の集い：休止
- ・7日(水)祈り会Ⅰ：5名(対面・リモート併用)Ⅱ：3名
- ・9日(金)とよひら食堂：157食(教会前55、札バブ40、聖公30、留学生会館5)大通20、ボラ11名(7食)
- ・10日(土)キリスト教信仰Q&A：4名(対面リモート併用)

お知らせ

4～10月期の礼拝出席を支えるためのタクシークーポン受付開始。牧師か長老までご相談ください。